

## 2023年度 独創的研究助成費 実績報告書

2024年3月29日

報告者	学科名	現代福祉学科	職名	教授	氏名	村社 卓
研究課題	対面活動が制約される社会での「たのしさの共有」に関する研究					
研究組織	氏名	所属・職	専門分野	役割分担		
	代表 村社 卓	保健福祉学部・教授	社会福祉学・ソーシャルワーク論	研究の実施・統括		
分担者						
研究実績の概要	<p><b>1. 研究目的</b> 本研究の目的は、対面活動が制約される社会での「たのしさの共有」の特性について明らかにすることである。具体的には、高齢者の孤立予防を目的としたコミュニティカフェの活動に注目し、「たのしさの共有」に焦点を当てて、新型コロナウイルス感染拡大による対面活動の変化について明らかにするものである。</p> <p><b>2. 研究方法</b> 研究方法是定性的（質的）研究方法である。調査対象は大都市 A 区の「カフェ」である。利用者は「一人暮らし高齢者、認知症高齢者、介護者」である。B 地区の場合、開催は3カ所の団地集会所で月4回。時間は13時から14時半の90分。参加費は200円である。参加者にはお茶とお菓子が提供される。「カフェ」の運営メンバーはスタッフと住民ボランティアである。主な調査方法は参与観察である。B 地区での参与観察は、2023年6月から2024年2月まで調査者が単独で実施した（「カフェ1」3回、「カフェ2」2回、「カフェ3」2回）。参与観察の主な対象者は「カフェ」の利用者、住民ボランティア、スタッフである。分析には定性的コーディングを用いた。</p> <p><b>3. 研究結果</b> 分析の結果、「楽しさの共有」は具体的に {たのしさへの共感と支持} と表現することができた。住民ボランティアは、自分のたのしさに共感してもらえ、さらに支持してもらえるので「楽しさの共有」が可能となるのである。そして、この {たのしさへの共感と支持} は、[共感してもらえる][成果として現れる][さらに改善できる]の3つのコードから生成された。</p> <p><b>(1) 共感してもらえる</b> 住民ボランティアは共感してもらえるから「カフェ」に参加している。「カフェ」では住民ボランティアの目標が明確になっている。住民ボランティアは、安全面での制約がありつつも、「こんな時だからこそできるだけ続けたい」と思っている。「こんな時だからがんばる」のであり、「人の役に立ちたいと思いがようになった」と心境の変化を語っている。「カフェ」ではたのしさに共感してもらえる。相手のたのしさへの共感と支持が見られるのである。</p>					

※ 次ページに続く

<p>研究実績 の概要</p>	<p><b>(2) 成果として現れる</b>  住民ボランティアは成果として現れるから「カフェ」に参加している。住民ボランティアは参加者数が気になる。会計の黒字を喜んでいる。「もっと来てほしい」と思っている。「参加者が増える方法を教えてほしい」と区にも要望している。参加しなくなった人の家には、手書きのチラシを配布している。その結果、利用者が増え、それを成果として喜んでいる。参加者数以外には、成果として、利用者からの反応にもこだわっている。</p> <p><b>(3) さらに改善できる</b>  住民ボランティアはさらに改善できるから「カフェ」に参加している。「カフェ」では、住民ボランティアはコーヒーの味、プログラム内容など継続的に改良している。歌にはクイズを取り入れている。紙に歌詞を書き、絵を描くなど、自分の担当する活動を工夫している。活動内容を見直しするため、アドバイスを求めるようになっていく。助言を受け入れている。メンバーに注文も出している。改善のためには、厳しいことが言えるようになっていくのである。</p> <p><b>4. 考察</b>  そして、これまでの成果（村社 2018）と比較するならば、【たのしさへの共感と支持】については、前回明らかにされた【双方向の体験】【活動への没頭】【意欲的な試み】は今回も変わることはなかった。今回は【共感してもらえる】【成果として現れる】【さらに改善できる】など、住民ボランティアのたのしさが共感され支持されていることを確認できた。このように、本研究は、超高齢社会における高齢者の孤立予防研究の基礎資料となるものであり、その成果は、社会的課題となっている「8050 問題」「中高年のひきこもり」対策にも貢献するものである。</p> <p><b>文献</b>  村社 卓(2018)「高齢者の孤立予防を目的としたコミュニティカフェに参加する住民ボランティアの継続特性ーボランティアの『楽しさ』に焦点を当てた定性的データ分析」『社会福祉学』58 (4) : 32-45.</p>
<p>成果資料目録</p>	